

2024_0104「真っ白な初浅間（写真）」日々の理科 3437号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

富士山と浅間山はいくつか共通点があります。一つは「活火山であること」です。富士山はかつては「休火山」という身分でしたが、有史に噴火記録がある火山は「活火山」が多くなり、現在は活火山という身分です。浅間山はほぼ毎日山頂から白煙（噴煙ではなく噴気）があがっているし、数年に一回噴火をするので、正真正銘の活火山です。もう一つは「独立峰であること」です。標高の差こそあれ、遠くの山の山頂や飛行機の機窓からも富士山や浅間山はすぐに判別できます。

しかし「初〇〇」の対象としては、富士山だけがダントツ、浅間山は番外です。「初富士の写真」というのはよく見ますが、「初浅間の写真」なんて聞いたこともありません。というわけで、非常に不遇な「初浅間」を撮っておきました。真っ白で山肌に人工的なものが全くないので、実に美しいと思いました。

(2024年1月上旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

